

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

コミュニティ・スクール 通信

令和5年度 第2号 9月27日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博



9年生の防災学習「避難所運営」

9月9日（土）、宗像市の総合防災訓練の日に、9年生の避難所運営に関する体験的な学習が、日の里中と日の里東小の体育館で同時に行われました。

避難所運営学習を進めるにあたり、9年生は熊本地震の被災地で宿泊学習を行ったり、日の里地区の危険箇所や避難ルートを確認を行ったりして準備を進めてきました。

避難所運営学習の当日、生徒たちは、避難ルート班、避難所運営班、避難グッズ班に分かれ、次々に体育館に来る避難者の受付、飲料水等の配布、誘導、困りごとの対応などにあたりました。

参加者からは、「中学生が元気よく活発に対応され、地域に住む住人として心強く感じました。災害時にも安心できそうです。」「中学生がよく勉強されていると感じました。被災地の熊本まで行かれてその地の人たちのお話を聞かれ、考えられたのでしょうか。とても頼もしい若者たちです。」などの声がありました。中学生からは、「実際に災害が起きた時、中学生でも避難所運営ができそう。」などの手応えの声や、「避難所運営を体験したけれど、実際に行ってみて、しっかり準備していても想定通りにはならないことばかりだった。誰かが動くのを待つのではなく、自分から考えて動く必要性を感じた。」などの反省の声がありました。

当日は両校に150名を超える地域の皆様のご参加とご協力がありました。おかげさまで中学生の体験学習が充実しました。ありがとうございました。



5年生の「宿泊体験学習」

日の里学園の小中一貫教育は今年で18年目を迎えています。日の里学園では小中の交流活動だけでなく、小小でも交流活動を行っています。9月19日（火）～21日（木）にグローバルアリーナで5年生の「宿泊体験学習」が行われました。東小と西小の5年生が出会い、友達になり、協力し合って活動を楽しんでいました。写真は野外炊飯とタグラグビーの様子、合同アートの作品です。

